



2012年12月期 業績概要

2013年2月14日

株式会社SmartEbook.com

証券コード:2330

2012年12月期 業績概要

2012年12月期 概況と損益状況

2012年は、各エリアの流通チャンネルと、そのリレーション構築のための、新商品開発や言語対応した世界中のローカルタイトルのデジタル配信化権を獲得いたしました。

主に、ASEAN、中央アジア、南米を中心として新たに5カ国/7キャリアの開拓が完了したほか、国内大手リテラーとのサービス開始、中国大手SNSとのサービスも開始となり、新たな配信チャンネルのリレーションやローカルエリア向けデジタル配信化権を、確保することができました。

一方、ローカルエリア向け課金システムの開発遅延の発生や、一部の有料プラットフォームの提供と広告モデルでのサービスの提供が遅れたため、売上高は減少。原価・販売管理費については、更なる抑制を行い、減少となりましたが、営業損失の改善には至らず減収となりました。

(単位:百万円)

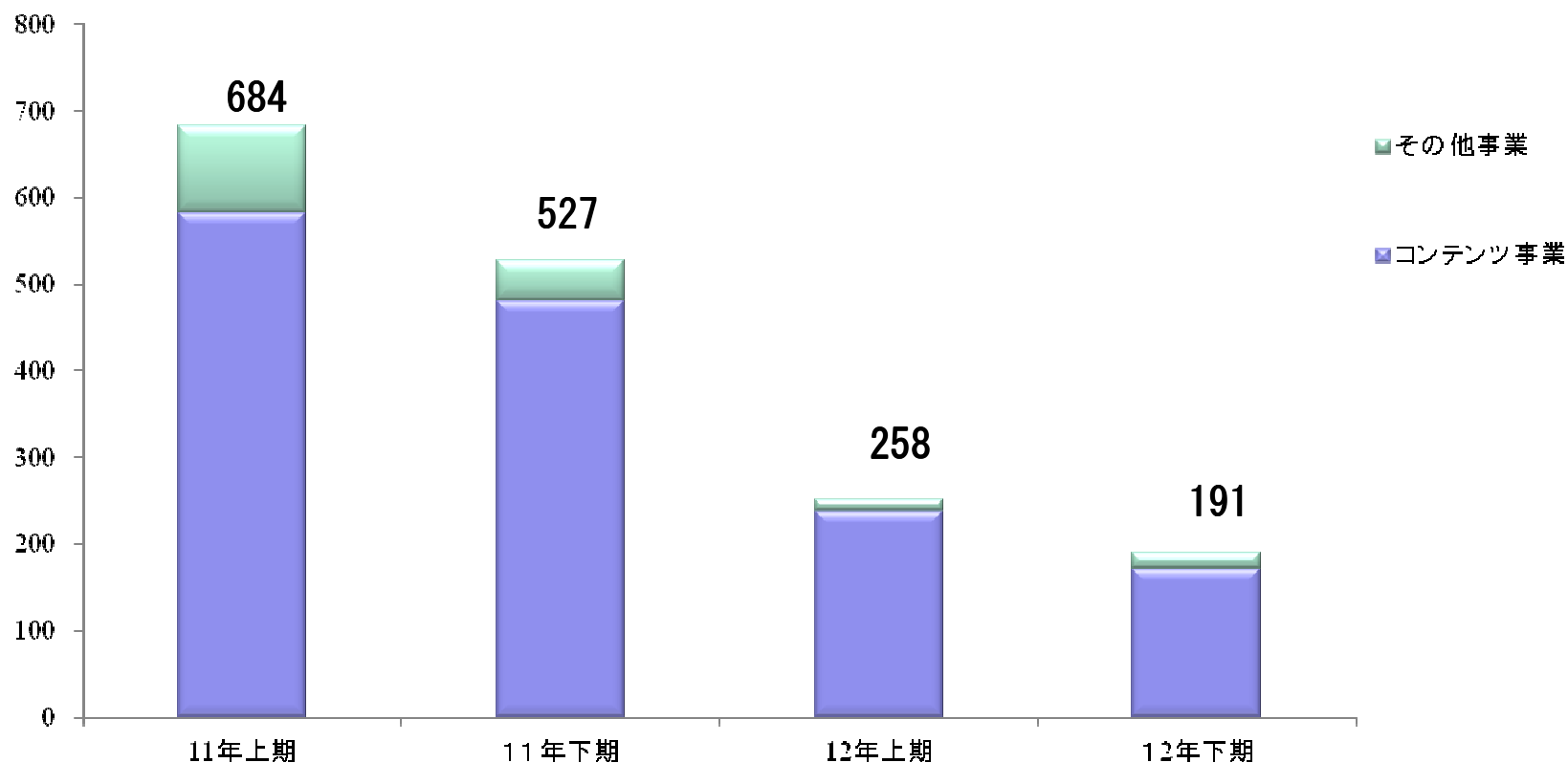
	2012年度(累計)		2011年度(累計)		増減率
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(%)
売上高	450	100.0%	1,211	100.0%	-62.9%
売上総利益	78	17.5%	422	34.8%	-81.3%
販売管理費	1,085	241.1%	1,578	130.2%	68.8%
営業利益	△ 1,006	-	△ 1,156	-	-
経常利益	△ 922	-	△ 1,107	-	-
当期利益	△ 1,017	-	△ 1,731	-	-

売上高の推移

ASEAN、中央アジア、南米の開拓を行い、新たに5カ国/7キャリアの開拓、国内大手リテーラーとのサービス開始や、中国大手SNSとのサービス開始いたしました。また、共有機能(当社電子書籍ユーザー同士/メッセージャーでの友達への共有など)の実装やOpen ID対応、ストリーミング対応も提供することができました。

収益の確保について、ローカルエリア向け通信キャリアの課金システムや、iOS向けサイトの提供が遅延したことによる伸び悩み、売上は減少いたしました。

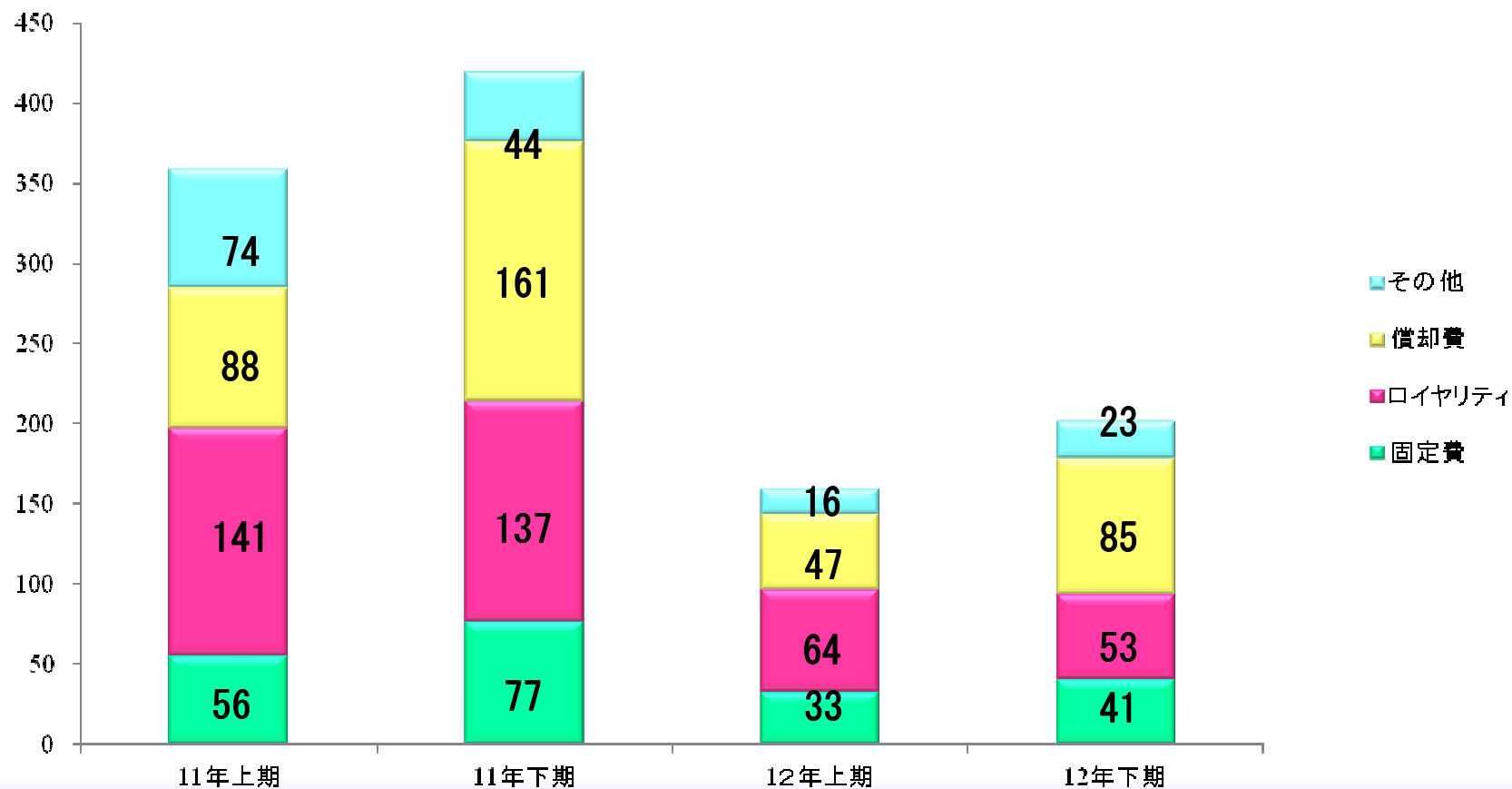
(単位:百万円)



売上原価の内訳と推移

各スマートフォンのOSバージョンアップに伴い、自社ビューア及びアプリケーションの開発を促進したことにより、新たな資産が増加いたしました。それまでに利用していた旧バージョンの自社ビューア及びアプリケーションの資産については、評価減の処理を行いました。

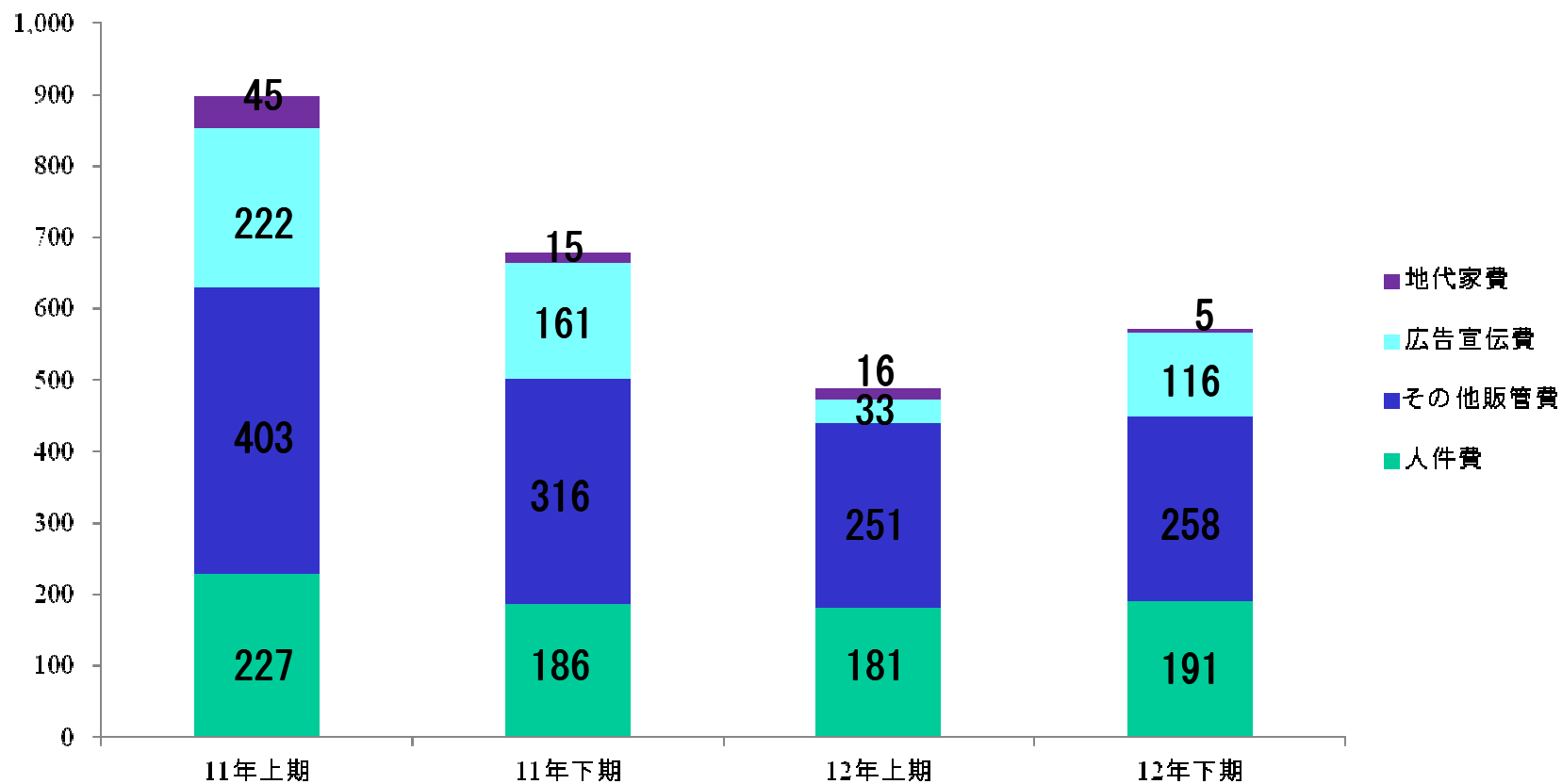
(単位:百万円)



販売管理費の推移

来期にむけて、各エリアごとの流通チャネルの更なる拡大とリレーション強化のため、各エリアの人材を増強。また、スマートフォンユーザー数の拡大として、ソーシャルリーディングのマーケティングを行った為、増加。

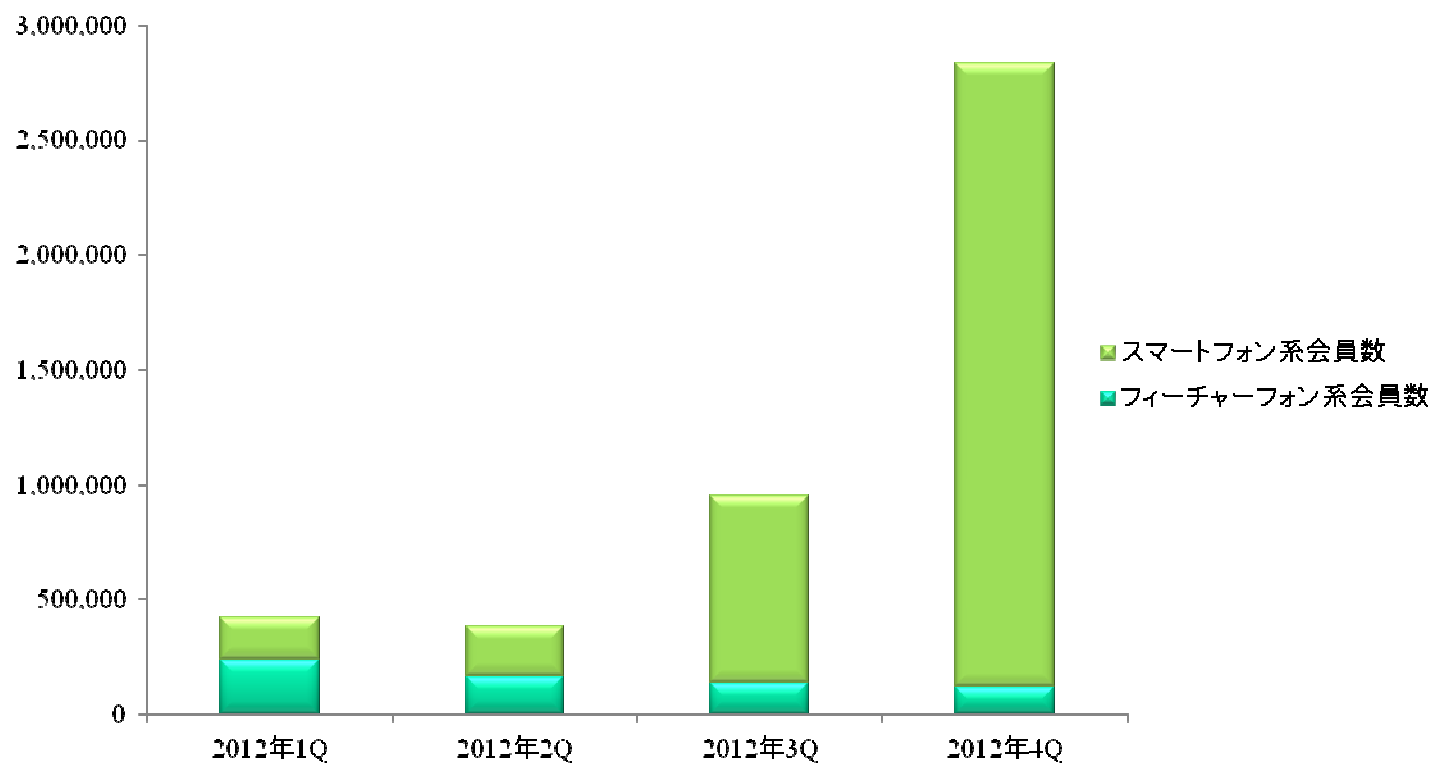
(単位：百万円)



フィーチャーフォン向けサービスの会員数は減衰しているものの、2012年度の重要課題であった「スマートフォンへの集中戦略」を実現すべく、e-Bookサービスの提供やプロモーションの展開をしてまいりました。

その結果、2012年4Q末時点でのスマートフォン向けサービスのユーザー数は、ソーシャルリーディングを核としたプロモーション展開/e-Bookサービス提供の相乗効果もあり、270万人を突破しております。特にテストマーケティングとして展開を行った中国でのユーザー数の増加が顕著になってきております。

(単位:人)





SmartEbook.comは
e-booksビジネスに特化し、
『一步一步を、着実に。』歩んで参ります。

—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社SmartEbook.comに属します。